

# みなみあいづ 議会だより

平成27年10月28日発行

第38号



- 台風18号による大雨の被害・・・2、20分
- 9月定例会
  - 平成26年度各種会計決算・・・4分
  - 議案審議・・・・・・・・・・6分
- 一般質問
  - 10人の議員が町政を問う・・・・8分
- 議会活動報告
  - 平成27年度上半期・・・・・・・・19分

ピカピカ保育所 うれしいな  
町立伊南保育所落成式

# 台風18号の爪痕



# 未曾有の災害、台

9月9日から降り続いた台風18号による大雨の影響で、町内各所で甚大な被害が発生しました。

10日から16日までの避難者は100世帯217人、17日現在の住宅などの被害は床上浸水16戸、床下浸水101戸、全壊や一部損壊など4戸が確認されました。

また、国道では289号（針生～東）、352号（内川～戸中、戸中～新田原、新田原～滝原）が通行止めになるなど、町民の生活に多大な影響をもたらしました。

議会も11日から30日まで会期を延長し、14日と15日に災害現場を視察、改めて想像以上の被害を確認したことから、1日も早い復旧に取り組むために一般質問の質疑を省略して文書による回答といたしました。

被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

写真は、国道352号戸中地内の崩落現場  
(9月11日撮影)

平成27年第3回定例会が、9月11日から30日までの20日間の会期で開催され、町からは、条例改正4件、平成26年度決算認定8件、補正予算5件、その他の議案など3件が提出されました。

また、議会からは、委員会提出議案2件が提出され、慎重な審議が行われました。なお、豪雨災害の影響で議事日程が大幅に変更となり、お詫び申し上げます。

## 平成26年度一般会計決算

歳入  
145億8,341万円  
歳出  
140億6,354万円

を認定

1000分の1に置き換えてみると・・・

## 町の家計簿

— 収入 —		— 支出 —	
前年度との対比額		前年度との対比額	
給料 【町税】	159万円 (3万円)	食費 【人件費】	208万円 (▲1万円)
パート収入 【負担金・使用料・手数料など】	15万円 (▲1万円)	光熱水費・日用品の購入 【物件費・補助費等】	362万円 (20万円)
親からの仕送り 【地方交付税・国県支出金など】	987万円 (6万円)	養育費・医療費など 【扶助費】	92万円 (8万円)
ローンの借り入れ 【町債】	151万円 (33万円)	車の修理代など 【維持補修費】	79万円 (19万円)
その他の収入・貯金引出 【寄附金・繰入金・繰越金・諸収入】	142万円 (29万円)	子どもへの仕送り 【他会計への繰出金】	118万円 (2万円)
不動産収入 【財産収入】	4万円 (▲1万円)	貯金 【積立金】	89万円 (▲7万円)
1年間の収入合計	1,458万円 (69万円)	生命保険など 【投資・出資・貸付金】	12万円 (4万円)
		家屋の増改築など 【投資的経費】	276万円 (40万円)
		災害からの復旧 【災害復旧事業費】	10万円 (▲13万円)
		ローンの返済 【公債費】	160万円 (▲7万円)
		1年間の支出合計	1,406万円 (65万円)
貯金残高は <b>757万円 (+28万円)</b>		ローンの返済残高は <b>2,167万円 (▲4万円)</b>	

※貯金残高およびローンの返済残高には、特別会計を含んでいます。

### 町の家計は大丈夫？

前年度と比較して、収入で5.0%、支出で4.9%増加しました。収入では、町が自由に使える財源「給料(町税)」が若干増えましたが、全体の10.9%に留まっています。一方で、家計の外に頼る財源「親からの仕送り(地方交付税・国県支出金など)」は、全体の67.7%を占めています。

支出では、家屋の増改築(新庁舎建設・広域消防救急デジタル無線等整備)で支出が増えたものの、教育費(学校耐震化大規模改修)や災害復旧などの事業量が減ったことで支出が抑えられました。

町の家計をみると、まだまだ親からの仕送りがないと成り立たないところがうかがえますが、それでも堅実なやりくり(行財政運営)がされて、少しずつ状況は改善しています。

また、計画的にローンを返済しながら、着実に貯金を積み立てして残高を増やしていることは、良い傾向といえます。

親からの仕送りに頼らない自律的な家計を保つためにも、第一次産業の活性化や企業誘致などで町民所得の向上に取り組むことが必要です。

### 平成26年度特別会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差引	
国民健康保険	20億9,248万円	20億5,351万円	3,897万円	
後期高齢者医療	2億1,336万円	2億1,274万円	62万円	
介護保険	18億5,660万円	18億3,152万円	2,508万円	
農林業集落排水事業	1億4,205万円	1億4,158万円	47万円	
公共下水道事業	4億876万円	3億9,376万円	1,500万円	
簡易水道事業	6億9,065万円	6億8,661万円	404万円	
企業会計		収入	支出	差引
水道事業会計	収益的収支	1億5,252万円	1億4,224万円	1,028万円
	資本的収支	7,950万円	1億5,810万円	▲7,860万円

### 主な財政指数

項目	平成26年度	平成25年度	解説
財政力指数 (3カ年平均)	0.231	0.228	町の仕事に必要な経費をどのくらい自力で賄えるかを表す数値で、「1」に近いほど財政力が高い。
標準財政規模	89億5,607万円	91億1,881万円	町の標準的の仕事に必要な経費の額
経常収支比率	84.1	84.7	町税や地方交付税などの収入が、経常的な支出(給与・借金返済など)にどのくらい使われたかを示す数値で、小さいほど自由に使えるお金が多い。
実質公債比率 (3カ年平均)	7.0	8.3	標準財政規模に対する借金返済の割合で、18%を超えると、新たに借金をするときに許可が必要になるなど制限が付く。
将来負担比率	16.6	21.0	将来負担しなければならない借金などが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを表す数値

### 決算審査の報告

審査した関係書類は、いずれも関係法令に基づいて作成され、その係数は誤りのないものであり、予算の執行および財政運営状況はおおむね適正なものと認められます。



木下光廣 代表監査委員

自主財源である町税などは依然として未納額が発生していますが、近年の状況をみると、その増加額は減少傾向にあり、職員の真摯な取り組みの成果が表れています。今後も、町民負担の公平性の確保と受益者負担の原則から、未納対策などで収納率の向上に努力していく必要があります。

平成26年度の財政指数は、健全財政に向けた改善のあとがみられますが、今後も普通交付税など一般財源の減少や人口減少により、財政の見通しがますます厳しくなることから、行財政改革のさらなる推進が必要とされます。

限られた財源の効率・効果的な活用を念頭に置き、町民の立場に立った安全で安心して暮らせる町の実現に向け、行政評価の効果的な運用が望まれます。

## 会津高原スキー場条例の一部を改正する条例

## 平成26年度一般会計決算

被災したスキー場の復旧は

星 光久 議員

高野 精一 議員

共通シーズン券の料金が、町内外で大きな差がありますが、その理由は、

総務課長

共通券の料金設定は、これまで町民のみなさんが利用しやすいように安価な料金に設定されています。

副町長

今回の豪雨災害で、スキー場でゲレンデの一部が崩落するなど、甚大な被害が発生しましたが、復旧の時期は、



たかつえスキー場の崩落現場

関係者との協議では、今シーズンはゲレンデの一部封鎖を視野に入れた営業も検討しています。

乗合タクシーの改善を

湯田賢太郎 議員

総合政策課長

4路線のうち1路線で、1人あたりの経費が多額です。

この路線に対する検討会などを組織して、改善に向けて取り組む考えは。

町長

この路線は、他の路線に比べて走行する距離がもつとも長く、経費も多額になります。

このことは、今後の公共交通に求められる重要な課題と認識していますので、利用者の目線に立った検討を重ねながら、経費を含めた改善に向けて取り組みます。



高齢者の移動にはかかせない乗合タクシー

当該地域では検討会が組織されており、地域の公共交通に対する課題が議論されています。町も、公共交通対策協議会などの既存の組織のなかで検討します。

さゆり荘の整備計画は

山内 政 議員

さかい温泉さゆり荘は、南郷地域の観光拠点として重要な役割を果たしていますが、老朽化も進んでいます。今後の整備計画は。

副町長

町も、さゆり荘の老朽化は認識しており、建て替えを計画する時期だと考えています。現在、建て替えの基本計画を作成しながら、平成30年度に只見川電源流域振興協議会の支援事業を受けて実施できるように進めています。

不妊不育事業の拡充を

楠 正次 議員

この事業で出産を迎える方がおります。医療機関への通院に対して支援を拡充する考えは。

町長

南会津地域で出産することは、医療環境的に非常に厳しいものであり、本件の場合通常分娩に比べて通院経費的にも負担が大きいと認識しています。今後も、県立南会津病院への産婦人科医の配置を粘り強く要望するとともに、出産後の子育て環境への支援を含めて検討します。

### 平成26年度一般会計決算

ふるさと納税で返礼の充実を

渡部 訓正 議員

会津地方のある自治体では、ふるさと納税額に対する返礼を充実させて実績を延ばしています。

ふるさと納税も貴重な財源であり、町も積極的に取り組むべきです。

町長

本町にも、多くの方々から貴重な浄財が寄せられています。

中には、純粹に町を応援したいと返礼をお断りする方もおりますので、双方のバランスを考慮して対応します。

指定管理施設の所管課の見直しを

室井 嘉吉 議員

滝原地内の「あらかい健康キャンプ村」の所管は商工観光課ですが、施設運営の性質から所管課を見直すべきでは。

副町長

施設の設定条例を制定した当時に商工観光課が所管であり、現在も継続している状態です。

議会でもさまざまな議論をした経過もあり、再度見直す必要があると認識しています。

荒海中学校の土地問題  
監査の指摘事項として継続を

星 光久 議員

過去の決算審査で、荒海中学校で問題視されている土地に対する指摘がありました。現在の対応は。

副町長

当該土地はすでに町が買収した土地として登記しましたが、残念ながら個人の建物に占有されている状態が続いています。

これまでも、裁判や所有者との間で協議の場を持ちましたが、さまざまな理由から、土地の明け渡しへの合意に至らないのが現状です。

町としては、教育委員会や財産管理の分野で、継続して解決策を検討しています。

星 光久 議員

近年はその指摘も見受けられませんが、監査の項目には該当しないものですか。

木下代表監査委員

指摘の内容は財産に関するものですが、決算審査では新規に取得した財産を重点的に監査しています。

当該土地は、取得から数十年が経過している間に取得した財産であることから、監査の対象外であり決算審査で意見は述べていません。

### 一般会計補正予算

被災したトマト農家への支援は

星 登志一 議員

災害を受けたトマト農家は、5段目あたりの収穫時期を迎えていました。

町長

就農者に対しては、町としてもさまざまな支援に取り組んでいます。今回の豪雨災害によっても、それ以上の被害額が予想されるので、安心して就農できる環境づくりのため、大胆な支援を実施しては対応します。

除雪作業員確保に向けた賃金上乗せを

貝田 美郎 議員

災害の復旧作業で土木事業者も多忙になり、一方で町が雇用する除雪作業員3人が、雇用を継続しないと聞かれています。

建設課長

本年の除雪に関する作業員の賃金や委託料も、これまで同様に見直しを進めます。除雪作業員を確保するためにも、賃金の上乗せを検討する考えは、乗せなどを検討する考えは。

平成27年9月定例会の一般質問は、台風18号の大雨による影響で町内に甚大な被害が発生したことから、1日も早い復興に取り組むため、質疑を省略して文書による回答といたしました。

なお、通告した10人の質問と執行機関の回答をお知らせいたします。

## 登壇順序・質問項目

- 1 **森 秀一 議員** ..... 9分  
①町設置看板の目的は  
②児童・生徒のいじめ対策は
- 2 **室井 嘉吉 議員** ..... 10分  
①町有観光施設について  
②地方創生について
- 3 **山内 政 議員** ..... 11分  
①南会津町の地方創生は地元力の向上で  
②民泊等による教育旅行の現状と課題について
- 4 **室井 英雄 議員** ..... 12分  
①妊産婦に対するアクセス支援について  
②中心市街地活性化について
- 5 **渡部 訓正 議員** ..... 13分  
①防災無線の活用について  
②きのこ原木の放射線量全数検査について  
③介護保険制度について
- 6 **大桃 英樹 議員** ..... 14分  
①沿道草刈りで来町者におもてなしを  
②新庁舎建設で協働のまちづくりを
- 7 **楠 正次 議員** ..... 15分  
①交流人口増加対策について  
②ふるさと納税推進について  
③不妊・不育治療費助成制度について  
④いじめ防止対策推進法について  
⑤「いじめ防止対策推進法」での道徳教育の教科化について  
⑥南会津町のいじめ防止対策の取り組みについて
- 8 **丸山 陽子 議員** ..... 16分  
①高齢者対策について  
②観光対策について
- 9 **湯田 哲 議員** ..... 17分  
①針生地区水力発電について  
②ICT時代の行政運営コストの再検証を  
③高杖のボイラー問題、山形県最上町から学べ
- 10 **星 登志一 議員** ..... 18分  
①介護保険施設の現状と課題  
②町民参加のまちづくり

# 一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



# 児童生徒のいじめ対策は

## 教育長＝早期発見と対応に努める

**問** 児童や生徒のいじめに対する、教育委員会の対応は。

**教育長** 「南会津町基本方針」に基づき、各学校からの報告やスクールソーシャルワーカーを配置して、実態把握に取り組んでいます。

**問** 学校や教職員が取り組んでいる防止策は。

**教育長** 各学校の実態に応じて定める「学校いじめ防止基本方針」を基に、防止対策の組織などを設けて、アンケート調査や教育相談などを充実させ、早期の発見と対応に努めています。

**問** いじめが発生したときの、担任や学校の対応は。

**教育長** 有識者の協力を得て、いじめを受けた児童生徒や保護者に対する支援と、いじめをした児童生徒に対する指導と保護者への助言に、組織的に対応します。

**問** 保護者との情報の共有は。

**教育長** 保護者からの情報が、未然防止、早期の発見と対応、再発防止に欠かせないことを理解いただくため、保護者会などで説明して協力をお願いしています。また、得られた情報は関係者間で共有しながら問題解決に向けて取り組みます。

# スキー場看板の改修を

町長＝計画的に改修や撤去を進める

**問** 観光看板は、施設の顔ともいえます。特に、スキー場の看板は色あせや汚れがひどいので、改修すべきでは。

**町長** 各スキー場の看板は合併前に設置したもので、表示やデザインが統一されていません。今後は、統一したデザインでの設置を検討し、色あせなどの看板は計画的に改修や撤去を進めます。



デザインの統一や改修が求められる4スキー場の看板

## スキー場など町有観光施設の今後の扱いは

町長＝新たな方針で今後も継続

## 問

平成24年に、  
南会津町第三

セクター経営評価委員会から「南会津町第三セクターの今後の方針について」の答申があり、多くの施設が廃止や売却など、厳しい検討が求められました。これを受け、平成27年度中にその結論を出すことになっていますが、現在の進捗は。

## 町長

答申を踏まえて地域経済に与える影響などを考慮し、次の3つの方針を定めました。

- ① 該当するスキー場・温泉宿泊施設の方針
- ② \*<sub>1</sub> 交付税一本算定を視野に入れた財政規律の強化
- ③ 第三セクター法人間の競争意識を高め、同時に民間の参入を促進

## 問

本年3月に、  
同委員会より

「町有観光施設に対する提言及び提案書」が提出されました。先の答申と併せて、町有観光施設に対する町の考えは。

## 町長

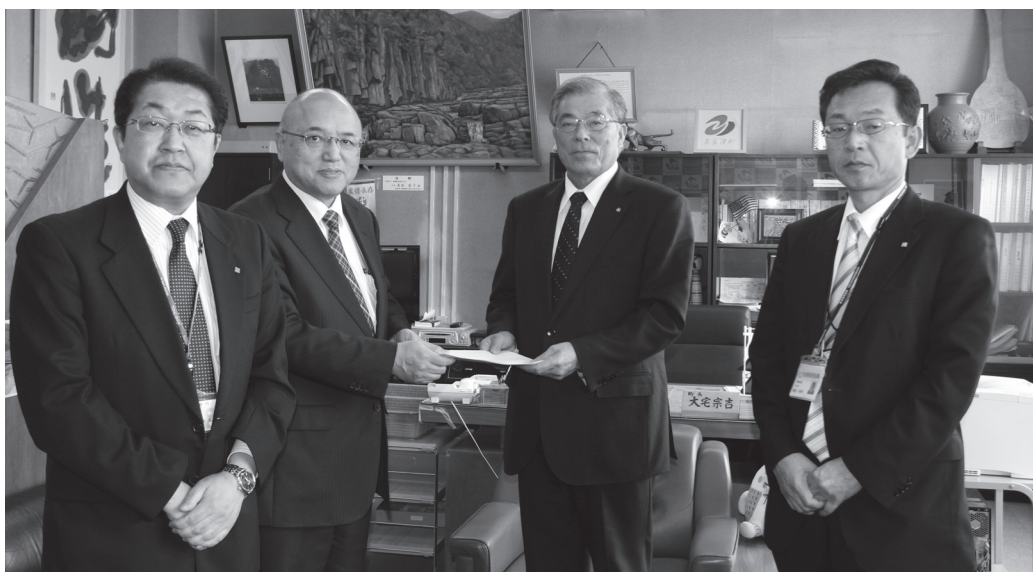
運営しながら存続に向けた営業戦略を進め、純民間法人の参入による収支の改善や、競争意識の芽生えによるサービスの充実など、経営状況に改善が見られます。

- しかし、未だ厳しい状況にあるので、今後は新たに策定した「町有観光施設に係る町の方針」により、地域経済への波及効果や雇用状況、各施設の財務状況や教育振興などを勘案して、次の4つの方針で運営していきま
- ① 全施設の継続運営
  - ② 公募を基本とした指定管理者の選定
  - ③ 公費支出の上限額などを設定
  - ④ 安定的な経営推進のため指定管理期間を5年とし再評価

## 用語

\*<sub>1</sub> 交付税一本算定

合併後10年間は、旧4町村の普通交付税が合算して配分されるが、合併11年目から段階的に減額し、16年目には一つの自治体として見直される。一本算定により、一般的に配分額は減額する。



第三セクター経営評価委員会による提言書の手交（平成27年3月18日）

その他の質問

・地方創生について

# 地方創生を見据えた施策の展開を

町長＝各分野で効果的な施策を検討

**問** 水稲栽培の後継者対策として、田島地域に農業生産法人などの営農組織を設立する考えは。

**町長** 将来的には農業生産法人などの営農組織は必要だと考えます。今後は、集落座談会などで、集落営農組織や農業生産法人の設立に向けて検討します。

**問** 町内で企業経営している地場産業の育成も、企業誘致同様に重要です。さらなる支援策は。

**町長** 地場産業は地域経済を先導し、雇用の場としてまちづくりの根幹を支えるものです。今後は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の議論のなかで、より効果的な支援策を検討します。

**問** 森林活用方策として、\*iC L T住宅需要を見据えた工場誘致などに取り組み考えは。

**町長** 県では、「ふくしま型C L Tチャレンジ事業」で関係機関が連携して研究開発中です。しかし、未知の部分があるため一般的な実用化までは時間が必要であり、町としては時期尚早と考えます。今後は、C L Tの技術開発の動向を注視しながら取り組みを判断します。

## 教育旅行の現状と課題は

町長＝信頼回復が課題

**問** 県は、教育旅行の回復を震災前と比較して49%と公表しています。本町での回復率は。

**町長** 震災前後の実績は左表のとおりで、約64%まで回復しています。

**問** 民泊による、教育旅行の誘客戦略は。

**町長** 新規受入農家への説明会や先進地の視察研修により、受入体制の強化と南会津郡内各町村との連携した誘致に取り組めます。併せて、首都圏への誘致キャラバンを粘り強く実施します。

用語

\*iC L T  
Cross Laminated Timber の略称で、ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル

民泊等による教育旅行の実績  
(括弧内は、うち農家民泊)

年度	受入団体数	延べ宿泊者数
22年度	261 団体 (21 団体)	44,967 人 (3,704 人)
26年度	182 団体 (6 団体)	28,691 人 (1,761 人)

# 中心市街地の活性化を

町長＝計画に沿った事業展開に取り組む

## 問

合併前に策定された「田島町中心市街地活性化基本計画」の、南会津町への引継ぎと、計画の実施状況は。

## 町長

合併後も、中心市街地の賑わいづくりに努めてきたところで、今後、同計画に沿った事業展開に取り組みます。

## 問

南会津町として「中心市街地活性化基本計画」を策定する考えは。

## 町長

引き続き、「田島町中心市街地活性化基本計画」により、中心市街地の活性化に向けて取り組めます。



大勢の人で賑わう七夕まつり（田島地域中心部）  
主催：南会津町商業振興協同組合

しかし、同計画の策定から9年が経過し、社会経済情勢も変化していることから、町商工会や関係機関と連携

して整備計画などを検証しながら、中心市街地の活性化に向けた調査と研究を進めます。

安心して出産するための  
アクセス支援を

町長＝動向を踏まえて支援内容を検討

## 問

町内で、妊産婦に対する医療体制が確保できないため、多くの方が1時間以上かけて会津若松市で出産しています。

## 問

国も、医師の偏在や分娩施設の減少を踏まえ、アクセス支援に前向きです。

町の考えは。

## 町長

県立南会津病院で妊産婦の受け入れが困難になってから、多くの方が会津若松市内の病院で出産する状況が続いています。

## 町長

県内では、二本松市のみが妊産婦に対するアクセス支援に取り組んでいます。

アクセス支援は、妊産婦の経済的負担を軽減するうえで有効な手段であり、今後は近隣町村の動向を踏まえて支援内容を検討します。

# 防災無線の放送時間の検討を

町長＝行政区の意見を伺い検討

## 問

町民へのお知らせや、注意

を呼び掛ける防災無線は午後4時に放送されますが、聞きやすい時間帯に変更する考えは。

また、行政区ごとに独自放送も可能ですが、緊急時の操作が出来なかったという声も聞かれます。操作説明会を実施する考えは。

## 町長

午後4時の放送は、行政区との意見交換会の結果を踏まえて決定したところですが、より効果的な住民サービスの提供に向け、行政区の意向も伺いながら検討します。

なお、「防災に関する出前講座」を活用し、機器の操作説明会を実施します。



職員による防災行政無線の放送のようす

## 放射線量全数検査の実施を

町長＝関係機関を交えて協議

## 問

南会津郡内の放射線量は基準値を下回っています

が、「きのこ原木」は抽出検査で安心・安全が不安視され、生産量が低迷しています。県では、全数検査をする機械の配置を計画していますが、町の対応は。

また、機械配置後の検査費用は、米の全袋検査同様に東京電力株が補償すべきですが、町の考えは。

## 町長

放射線量の基準値以下

が確認された原木の生産が進めば、安全で信頼される南会津産の原木として、ブランド化につながると期待しています。

しかし、機械導入には課題もあるため、原木生産者の意向を確認しながら、県との協議を進めていきます。

なお、米の全袋検査同様、検査費用は東京電力株が補償すべきと認識していますので、関係機関と連携して強く補償を求めます。

### その他の質問

・介護保険制度について

## 沿道美化の取り組みは

町長＝景観づくりへの取り組みに支援

## 問

近年、沿道の雑草が目立つようになりました。

町景観計画に基づき、沿道美化の取り組み状況は。

## 町長

毎年8月の「全国道路ふれあい月間」に合わせて、清掃美化活動を実施しています。

また、集落応援交付金事業で景観づくりに取り組む行政区や、本年度は合併10周年記念事業として、沿道に山つつじの植栽を実施した団体などを支援しています。

さらに、県の「うつくしまの道・サポート制度」による苗や肥料の提供で、沿道美化に努めています。



山つつじ植栽後の記念撮影（田島地域針生地内）

## 問

景観に対する意識の育成や観光資源開発のため、「私の好きな町の風景」を町民から募集して町内外に発信しています。

## 町長

地域のシンボルとなる建造物や樹木を町民から募集し、景観重要建造物、景観重要樹木として指定しています。

また、建築士会田島支部青年部では、毎年「まちなみフォトコンテスト」を実施して、ビューポイントマップを作成しています。

提案の内容は、関係団体などと協議して検討します。

## 問

自治体によっては、住民団体などに草刈業務を委託することで、良好な景観を維持しています。

## 町長

町道の草刈りは、道路網の整備状況や維持管理経費、地域力などを考慮して、住民団体などへの業務委託を検討します。

町の考えは。

## その他の質問

・新庁舎建設で協働のまちづくりを

# 交流人口の増加対策を

町長＝町独自の誘客活動を展開

## 問

観光事業や交流人口の拡大は、人口減少の影響を緩和させ、地域社会の活性化や経済効果が期待できます。

また、観光の潮流は通過型や集団型から、個人型や体験学習などの交流型にシフトしています。

本町の交流人口の増加対策と、4地域の観光誘客の戦略は。

## 町長

地域資源を生かした年

42回のイベント開催や、独自の受け入れ態勢の強化で誘客活動を展開するとともに、冬期間の経済活性化の拠点である4つのスキー場の誘客強化に取り組めます。

なお、各地域の主な観光資源と誘客対策は下表のとおりです。

町内各地域の主な観光資源と誘客対策

地域	取組内容
田島	会津田島祇園祭や鳴山城跡などの歴史文化型観光資源をはじめ、駒止湿原や七ヶ岳などの自然資源の活用と、地域力を生かした各種イベントによる交流人口の増加
館岩	田代山などの自然資源や、歴史的景観を残している前沢曲家集落や水引集落の活用、友好都市さいたま市からの誘客強化と、裁ちそばのブランド化による知名度向上などを展開
伊南	レジャー資源の伊南川のアユ釣り、久川城跡や大桃の舞台などの歴史的資源、小豆温泉や古町温泉の保養施設の活用と、新設整備するクロスカントリーコースで大会や合宿を誘致
南郷	南郷スキー場や高清水自然公園をレクリエーションの拠点として位置づけ、界温泉や山口温泉を保養の拠点として整備し、南郷トマトを活用した誘客を推進

## 不妊・不育治療費助成の成果は

町長＝着実に成果が出ている

## 問

不妊・不育治療費助成制度がスタートして4年目に入りました。この助成制度により妊娠・出産に至ったケースの有無は。

## 町長

平成24年度から開始したこの支援で、妊娠・出産に至った方がおります。町としては、着実に成果が出ていると認識しています。

## その他の質問

- ・ふるさと納税推進について
- ・いじめ防止対策推進法について
- ・「いじめ防止対策推進法」での道徳教育の教科化について
- ・南会津町のいじめ防止対策の取り組みについて



# 介護予防と認知症予防への対策は

町長＝介護予防運動の指導者を育成する

**問**

高齢化とともに、認知症の人数も増えています。本町の介護予防および認知症予防対策の実施状況は。

**町長**

認知機能低下の予防に効果がある、<sup>※1</sup>運動器機能向上事業の実施や<sup>※2</sup>介護予防ボランティア育成事業を開催し、介護予防運動の指導者を育成します。

**問**

寝たきりにならないための予防と健康維持の一環として、「ラジオ体操」による健康づくりに取り組む考えは。

**町長**

ラジオ体操は短時間で全身運動ができ、健康づくりに効果があると認識しています。各集落で取り組めるよう、ラジオ体操CDを希望した44の行政区に配布し、健康づくりに取り組んでいます。

**問**

昨年から、高齢者ボランティアポイント制度を実施していますが、その状況は。

**町長**

平成26年8月の実施から本年8月末現在で、ボランティアポイントカードを希望して活動している方は527人です。

**問**

他の自治体で取り組んでいる、「有償ボランティア制度」を導入する考えは。

**町長**

現在、本町で有償ボランティアの制度はありませんが、今後は高齢者のニーズやボランティアの担い手などを調査し、実施の可否を検討します。

用語

<sup>※1</sup>運動器機能向上事業

高齢者が要介護状態になることを防止するための、運動教室を開催

<sup>※2</sup>介護予防ボランティア育成事業

地域の身近な場所で、介護予防の運動教室を実施する支援者を育成

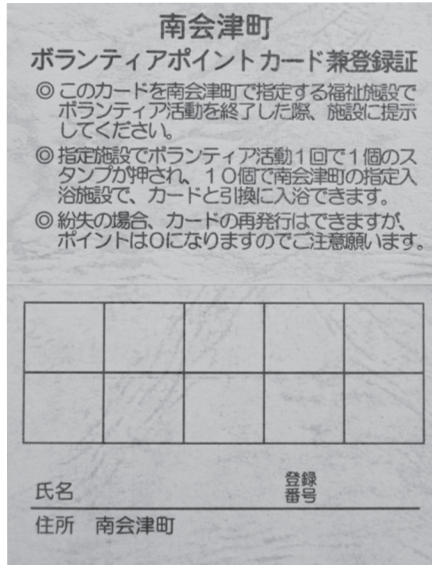
## 観光情報検索にパソコンの設置を

**問**

県内外から訪れる観光客に向けて、町の観光情報が検索ができるよう、主要な施設へパソコンを設置する考えは。

**町長**

町長＝道路利用者の動向を見極めて検討  
パソコンを活用した観光情報検索ツールへの対応は重要です。今後は、道路利用者の動向を見極めながら、観光情報の発信方法を検討します。



ボランティアポイントカード兼登録証



町政を問う  
一般質問

針生地区の水力発電事業、今後の対応は

町長＝送電網の強化や発電事業者に対する支援を強く要望

問

針生地区で水力発電事業を予定していた、日本工営(株)が撤退した理由と、今後の町の考えは。

町長

本年4月に、日本工営(株)が東北電力(株)に対して系統連係を事前相談したところ、当地域では送電網の容量に余裕がないため、現時点での事業実施は不可能という理由です。

町は、国や県に対して送電網の強化や発電事業者に対する支援などの要望を今後も継続し、再生可能エネルギー施策の衰退阻止に取り組みます。

問

50ワット以下の小規模水力発電は可能です。町内の民間事業者から、参入計画があった場合の対応は。

町長

これまで同様に、積極的に支援します。



台風18号通過後の旧針生発電所取水口の様子

その他の質問  
・高杖のボイラー問題、山形県最上町から学べ

行政運営コストの再検証を

町長＝コストの圧縮を検討

問

町税や水道料などの事務処理では、ソフトウェアへの依存度が高くなっています。

合併から5年ごとの、行政運営に係るコンピューター使用料などの決算額は。

町長

左表のとおりです。

行政運営関係コンピューター使用料決算額

年度	管理料	リース料	ソフトウェア使用料
18年度	1,134万円	3,609万円	2,475万円
23年度	1,665万円	2,928万円	2,731万円
26年度	1,288万円	3,834万円	3,536万円

問

コンピューター化による便利さとコストのバランスを考え、ソフト会社への依存度を少しでも減らすための検討や研究が必要では。

町長

ソフト会社で独自のシステム開発が進み、他社での改修や運用保守ができず、費用が増加しています。

現在、国はこのような事態を回避するため、行政関連ソフトに対するデータ型式の統一化などのルールづくりをしているため、町もその適否を見極めながら、経費の圧縮に努めます。



# 介護施設の増床計画は

町長＝次期介護保険事業計画で実施予定

## 問

1人や2人暮らしで、要介護3以上の人数は。また、緊急時の対策と増床計画は。

## 町長

該当する方は31人で、緊急時はショートステイなどのサービスを利用しています。

なお、増床整備は、次期介護保険事業計画の平成30年度以降に実施する予定です。

## 問

国民年金の方々に介護保険負担限度額制度を説明しても、介護施設の入所費用に対する支払いへの不安が消えません。制度の周知方法は。また、年金収入それぞれ60万円の夫婦の1人が、民間施設に介護3で入所した場合の費用と助成制度の有無は。

## 町長

町では、相談者への説明のほか、地域包括支援センターなどで情報を提供しています。また、指摘の場合の入所費用は、預貯金などが基準以下と仮定すると本人負担額は月5万1300円程度です。

なお、入所費が年金額を超えた場合の助成制度はありません。

## 問

看護師不足のなかで、南会津郡内の問題として本町が先導し、解決していく考えは。

## 町長

町は、看護師を目指す

学生に対する奨学金貸与制度や、町内の医療機関などに看護師として就職した場合に、奨学金の返還を免除する制度を平成26年度から実施しています。貸与の実績は左表のとおりですが、今後も各町村が連携した新たな取り組みが必要だと認識しています。

奨学資金の貸与状況  
(看護師養成所等)

年度	人数
26年度	3人
27年度	3人

## 問

人材育成の取り組みとして、高校との連携を考えるべきでは。

## 町長

現在は、社会福祉協議

会のサマーボランティア事業を通じて理解を深めていただく取り組みをしており、今後も関係団体と連携し、人材の育成や確保に努めます。



サマーボランティア事業のようす

その他の質問

・町民参加のまちづくり

# 議会活動報告

平成27年度上半期(4月1日～9月30日)

月	日	活動内容	対応者
4	7	議会広報委員会	議会広報委員
	13	会津縦貫南道路整備促進期成同盟会監査	議長
5	7	議員懇談会	全議員
	12	第2回議会臨時会	全議員
	20	県町村議会議長会広報研修会	議会広報委員
	25	全国森林環境税創設促進議員連盟正副会長会議 会津総合開発協議会南会津地方部会 会津総合開発協議会総会	議長 副議長
6	26	全国町村議会正副議長研修会(～27日まで)	正副議長
6	4	請願受理	議長
	5	県町村議会議長会総会	議長
	9	議会運営委員会	議会運営委員 正副議長
	12	第2回議会定例会(初日)	全議員
		議員懇談会	
		正副常任委員長会議	正副議長 正副常任委員長
	15	総務委員会	総務委員
		産業建設委員会	産業建設委員
		文教厚生委員会	文教厚生委員
		議会広報委員会	議会広報委員
	16	総務委員会	総務委員
		産業建設委員会	産業建設委員
		文教厚生委員会	文教厚生委員
	17	正副常任委員長会議	正副議長 正副常任委員長
		第2回議会定例会(2日目:一般質問)	全議員
	18	第2回議会定例会(3日目:一般質問)	全議員
	19	第2回議会定例会(最終日:議案審議)	全議員
	22	県道黒磯田島線整備促進期成同盟会監査	産業建設委員長
		県道高隈田島線改修促進期成同盟会監査	総務委員長
	24	新人議員研修会(初日)	新人議員
	25	新人議員研修会(2日目)	新人議員
	26	産業建設委員会	産業建設委員
29	会津縦貫南道路整備促進期成同盟会地方要望	議長	
30	県道高隈田島線改修促進期成同盟会総会	関係議員	
7	1	会津総合開発協議会役員会	議長
		議会報告会	A班議員
	2	県町村議会新人議員研修会	新人議員
	3	会津縦貫南道路整備促進期成同盟会県要望	議長
	6	議会運営委員会	議会運営委員 正副議長
		第3回議会臨時会	全議員
		総務委員会	総務委員
	7	議会広報委員会	議会広報委員
		会津総合開発協議会国出先機関要望	議長
	8	会津総合開発協議会国出先機関要望	議長
	9	会津縦貫南道路整備促進期成同盟会中央要望	議長
	10	南会津地方町村議会議員大会	全議員
	16	議会広報委員会	議会広報委員
		全国森林環境税創設促進議員連盟第22回定期総会	議長
	17	南会津地方町村議会議長会視察研修(～18日まで)	議長
	21	国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会役員会・総会	関係議員
	22	台東区副区長・議長表敬訪問	正副議長
	24	国道289号線建設期成同盟会総会・事業説明会	議長
	28	国道352号改良工事促進期成同盟会監査	産業建設委員長
	30	国道401号改良整備促進期成同盟会総会・中央要望	議長

月	日	活動内容	対応者	
8	3	県議長会正副議長研修会	正副議長	
	4	産業建設委員会(～5日まで)	産業建設委員	
	6	地方創生議員研修会	全議員	
	10	県道黒磯田島線整備促進期成同盟会総会	関係議員	
	11	文教厚生委員会	文教厚生委員	
	19	全国森林環境税創設促進議員連盟臨時正副会長会議	議長	
		南会津地方町村議会議員大会決議事項の県出先機関要望	副議長	
		県道栗山館岩線整備促進期成同盟会総会	関係議員	
	21	国道352号改良工事促進期成同盟会総会	関係議員	
	25	産業建設委員会行政視察研修(～27日まで)	産業建設委員	
	26	文教厚生委員会	文教厚生委員	
	27	会津総合開発協議会・会津縦貫南道路整備促進期成同盟会合同中央要望(～28日まで)	議長	
	9	1	請願受理	議長
		2	会津総合開発協議会南会津地方部会県要望	議長
3		文教厚生委員会	文教厚生委員	
8		議会運営委員会	議会運営委員 正副議長	
11		第3回議会定例会(初日:会期の決定ほか)	全議員	
14		豪雨災害現地視察	田島地域議員	
		議会運営委員会	議会運営委員	
15		豪雨災害現地視察	館岩・伊南・南郷地域議員	
		第3回議会定例会(2日目:提案理由の説明ほか)	全議員	
		議員懇談会		
		議員研修会		
		正副常任委員長会議	正副議長 正副常任委員長	
24		総務委員会	総務委員	
		産業建設委員会	産業建設委員	
	文教厚生委員会	文教厚生委員		
	議会広報委員会	議会広報委員		
25	総務委員会	総務委員		
	産業建設委員会	産業建設委員		
	文教厚生委員会	文教厚生委員		
28	正副常任委員長会議	正副議長 正副常任委員長		
	第3回議会定例会(3日目:議案審議・閉会)	全議員		
29	行政視察受け入れ(栃木県芳賀町議会)	正副議長		



産業建設委員会のような(平成27年6月26日)

※議員としての職務を優先する活動のみ掲載しています。  
※その他、入学式などの式典、各種団体の会合、地域イベントなどへの参加は除いています。

# 災害現場を視察、想像を超える被害を確認



- ①町道の崩落（田島地域）
- ②河川の氾濫で堤防が決壊（田島地域）
- ③橋梁の崩落（田島地域）
- ④河川の氾濫で堤防が決壊（田島地域）
- ⑤河川の氾濫で大破したトラック（田島地域）
- ⑥だいくらスキー場ゲレンデの崩落（田島地域）
- ⑦民家脇の沢の氾濫（南郷地域）
- ⑧流木で大破した橋梁の欄干（館岩地域）
- ⑨河川の氾濫で倒壊した南郷トマトのパイプハウス（館岩地域）
- ⑩河川の氾濫で冠水した南郷トマト（館岩地域）
- ⑪河川の氾濫で大破した堤防（館岩地域）
- ⑫民家裏山の斜面の崩落（館岩地域）

台風18号による関東・東北豪雨災害は、10月6日に激甚災害に指定されました。現在は、復旧に向けた取り組みが進められています。

議会広報委員会  
 委員長：星光久  
 副委員長：森 秀一  
 委員：貝田美郎  
 委員：丸山陽子  
 委員：室井英雄  
 委員：室井嘉吉

## 議会傍聴におこしく下さい

平成27年第4回定例会  
 12月11日(金)開会予定

議会傍聴の手続きは簡単です。  
 本庁3階傍聴席入り口で住所と名前を書くだけです。  
 傍聴席で議案も閲覧できます。

発行 南会津町議会 ☎ 967-8501 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1  
 編集 議会広報委員会 ☎ TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-6102  
 E-mail:gikai@town.minamiaizu.lg.jp

